

香取市教育委員会会議録

令和7年1月定例会議

1 期 日 令和7年1月23日（木） 開会 午前8時45分
閉会 午前9時13分

2 場 所 香取市役所5階504会議室

3 出席委員 教育長 堀 越 洋
教育委員 芦 田 優 子
教育委員 鳥 次 由紀子
教育委員 伊 藤 博 和

4 欠席委員 教育長職務代理者 熱 田 昇

5 傍聴者 なし

6 出席職員 教育次長 本 宮 茂 幸
教育総務課長 木 内 英 子
学校教育課学校教育班長 秋 葉 賢 一
生涯学習課長 伊 藤 教 文
生涯学習課副参事 菅 生 和 代
香取市学校給食センター所長 武 田 尚
教育総務課教育総務班長 大八木 奈津子

7 開会宣言 堀越 教育長

8 会議録署名人の指名 伊藤 委員 鳥次 委員

9 前回会議録の承認 令和6年12月定例会議録を承認

10 教育長報告

今回は書面での報告といたします。

11 議決事項

議案第1号

香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について

教育長

議案第1号「香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」、事務局から提案理由説明をお願いいたします。

教育総務課長

議案第1号「香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」ご説明いたします。

本案件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年、教育委員会の所管する事務について、点検・評価を行い、その結果を議会に提出し、公表することとなっていることから、前年度(令和5年度)の評価について、本日提案させていただきました。
各施策につきましては、順次各担当課長からご説明申し上げます。

「4-1 教育施設・環境の整備」は、私からご説明させていただきます。
資料右上の目指す方向性の達成度についての評価は「普通」です。
資料左側の一番上「5年後の目指す姿」として、香取市学校等適正配置計画実施プランに基づき、学校の適正配置や教育環境の改善及び学校施設の長寿命化が図られているとしております。
その下の欄で、学校施設の大規模改修工事については、令和5年度に香取市学校施設長寿命化計画を更新し、今後も国庫補助事業を活用するなど計画的に進めていくこととしております。
また、気候変動による災害や熱中症等により児童生徒の学習活動へ支障をきたしていることからより安全・安心な教育環境の整備・充実を図ります。

「施策の主な課題」としては、適正な学校規模を維持するため学校再編・統合が必要、老朽化した学校施設の長寿命化の計画的な推進が必要、統合による廃校施設の利活用について全庁的な取組が必要であります。

業績評価指標につきましては、「小学校数」「中学校数」「大規模改修工事を実施した校舎棟数」において、高い達成率を維持していることから、右側の「成果指標の進捗状況」は、評価年度の目標は概ね達成しているとしております。

「これまでの取組と今後の課題」は、先ずこれまでの取組ですが、学校再編では、過去10年間において、小中学校で6件、12校を合併しており、閉校後の12校の児童・生徒及び保護者から「統合してよかった」とする意見が多数寄せられております。
大規模改修工事につきましては、令和3年度から実施している小見川中央小学校屋内運動場の長寿命化改修事業は令和5年度末に完成いたしました。
今年度には小見川北小学校校舎長寿命化改修工事の実施設計業務を開始いたしました。令和8年度以降に工事を行う予定となっております。

今後の課題は、建築後40年を経過した施設が多く、今後も使用していくためには、施設の長寿命化改修工事等が必要であり、継続的に事業を推進し、予算の平準化を図り事業を推進していく必要があると考えます。

最後に、「総合評価（今後の方向性等）」ですが、学校の適正配置及び統合についての進捗度は、高い水準ではありますが、少子化の進行が著しく、許容規模未満の小中学校の解消までには至らないため、児童生徒の推移を勘案し、再編を進める必要があり、学校再編・統合により生じた旧学校施設の処分について、公有財産管理部署との連携により、適切に用途廃止を行い民間活力の導入を図っていく必要があると考えております。

学校教育課
学校教育班長

続いて「4-2 学校教育」についてご説明いたします。

5年後のめざす姿としまして、変化の激しい社会情勢の中で、児童生徒がたくましく生き抜く力の確実な育成に向けて、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育める教育環境の充実に取り組んでまいります。
具体的な柱として、長期欠席対策と学力向上を挙げており、成果指標もそちらで記載しております。

長期欠席につきましては、令和3年度から「出席停止・忌引きの日数」も登校しなかった日数に計上しているため数値が上昇しているのに加え、コロナ禍といった要因も加わり数値は増加しております。
現在は、教育活動の再開に伴い、数値は改善傾向にあるものの、継続した手立てを講じることは、必須となっております。

全国学力学習状況調査につきましては、小学校算数、中学校数学ともに全国平均を下回る結果となっており、それを受け、昨年度から大きく手立てを話し合ったところです。

次に、具体的な取組と今後の課題及び総合評価としての今後の方向性についてです。

まず長期欠席対策として該当児童生徒の状況を細かく把握し、学校・保護者及び関係課・関係機関が連携し、速やかに長欠児童生徒の解消に努めております。

特に、児童生徒の実態に応じた個別支援を充実させ、不登校やいじめなど、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見、早期対応に向けて確実に取り組みます。

来年度から、ふれあいステーションの事業拡大を目指しており、今後も長欠対策の充実を図ってまいります。

学力向上につきましては、これまでの研修に加え、今年度「学力向上推進委員会」を組織するとともに、総合教育会議でも申し上げた「リーディングスキルテスト」の中学校での全校実施など、具体的、体系的方策をもって実効性のある手立てを進めております。

この継続が重要な課題となると考えておりますので、注力してまいります。

以上のことから施策目標の達成度は「普通」となります。

続いて「4－3 青少年健全育成」についてご説明いたします。
5年後に目指す姿は、次代を担う青少年の一人ひとりが、地域社会に適応しながら、健やかに成長することを目指しております。

業績評価指標に基づく、成果目標の進捗状況につきましては、青少年相談員事業の参加者数は、新型コロナの5類への移行により、目標値を大きく上回る結果となりました。
今後も青少年の健全育成を育むため、各種事業を展開して参ります。

これまでの取り組みと課題でございますが、青少年活動をリードしてきた「子ども会」は、少子化等による組織の縮小が顕著であり、子ども会育成連合会の退会数が年々増えております。
組織の在り方を検討してくとしておりますが、残念ながら令和6年度をもちまして解散することとなってしまいました。

今後の方向性等につきましては、地域の資源や人材活用を図りながら、時代に即した市民のニーズに応じていく必要があります。
また、家庭での教育力の向上のため、各学校で実施する家庭教育学級は、地域との連携も考慮しながら、実効性のある事業とすることが重要であると考えております。

続いて「4－4 生涯学習」についてご説明いたします。
5年後に目指す姿は、市民が主体となった文化創造に向けた質の高い取組が進められていることを目指しております。

業績評価指標に基づく、成果目標の進捗状況につきましては、新型コロナの5類への移行により、教室・講座・イベントの募集人数等の制限も緩和されるなど、市民の文化芸術活動はコロナ禍前の状態に戻りつつあります。

これまでの取り組みと今後の課題でございますが、市民の学習ニーズが多様化するなか、公民館や図書館、生涯学習担当班で、アンケート結果等を踏まえ、講座・教室等を企画しております。
図書館におきましては、近年は、活字離れが顕著な、中高生に対する利用促進や、読書バリアフリー法の施行による、障がい者サービスの拡充が課題となっております。

今後の方向性等につきましては、各世代のニーズや地域性などに配慮した取り組みやすい講座・教室等の企画を検討するほか、学習成果の発表の場にも参加しやすいよう工夫する必要があると考えます。
また、SNSやホームページ、生涯学習ガイド等を活用して積極的な情報提供を行い、参加者・利用者を拡大する必要があると考えます。

生涯学習課
副参事

続いて、「4－5 スポーツの推進」になります。
個々の希望やライフステージに応じた多様なスポーツに親しむ人や団体が増え、健康で活力ある生活を送ることを5年後の目指す姿とし、施策を進めてきました。

令和5年6月に「第3次香取市生涯スポーツ推進計画」を策定し、生涯スポーツの普及に向けた取り組みとして、市民レガッタの開催やカヌーSUPの用具更新により、水上スポーツを楽しめる機会を創出したり、また小江戸マラソン大会の開催により、健康増進の向上とスポーツツーリズムの観点から市PRに繋がっているところです。
一方で、スポーツ施設の多くで老朽化が著しく、適正な管理運営とスポーツ施設整備計画を作成すること、また多様化するスポーツへのニーズを捉えつつ、市民が気軽にスポーツ活動ができる環境整備を進めることが課題となっています。

また、業績評価指標からは、スポーツ施設利用者が増加傾向でコロナ前に戻りつつありますが、しかしながら、スポーツ指導者養成研修等への参加が減少しており、スポーツ推進に大きな役割を果たす指導者の育成が必要であると感じています。
以上を踏まえての総合評価として、市民がスポーツに親しみ、健康づくりに取り組める機会の提供に努め、多くの市民ニーズが満たされるよう、既存施設の統廃合を含め再編整備の方向性を示していきます。
最後に、目指す方向性の達成度は、「普通」といたしました。

生涯学習課長

最後に「4－6 歴史・文化」についてご説明いたします。
5年後の目指す姿は、歴史を刻む市内指定文化財の計画的かつ適正な保存・活用が進むとともに、市民が芸術文化に親しむ機会が増え、積極的な参加により文化・芸術活動が盛んに行われていることを目指しております。

業績評価指標に基づく、成果目標の進捗状況につきましては、伊能忠敬記念館は、新型コロナの5類への以降後、入込客数は令和元年度以前の数値に回復しつつあります。

これまでの取り組みと課題でございますが、文化財の活用につきましては、日本遺産事業へ積極的に参加するとともに、個別の保存活用計画の策定に取り組んでおります。しかし、無形民俗文化財の保護は少子高齢化による後継者不足や、増大する維持管理費の支援等の充実が重要となっております。

今後の方向性等につきましては、文化財保存活用地域計画に基づき、文化財等の総合的な保存と活用を推進し、日本遺産事業などを通じて、佐原の町並み、佐原の山車行事、伊能忠敬などとともに、文化財の観光資源としての活用方法を検討する必要があります。
また、各種団体への支援及び協力につきましては、支援に関するガイドラインを設けるなどして、適切に対応する必要があると考えております。

教育長

ただいま事務事業点検についての提案理由説明が終わりました。
それでは、議案第1号について質疑に入ります。
質問・確認事項等ございませんか。

委員・質疑	「4－6 歴史・文化・芸術」の総合評価欄で、「伊能忠敬記念館の学芸員の安定的確保及び専門性の向上を図る」とありますが、学芸員はどのような基準で選ばれているのか、また、任期というか、どのくらいのサイクルで変わっているのか教えていただきたい。
生涯学習課長	学芸員につきましては正規職員2名が配置されております。採用の試験の時に、近世の古文書をきちんと解読できるですか、専攻として近世時代の学科で学んできた学芸員の募集を行っております。選考試験を行い正規職員となりますので、任期は定年までとしておりますが、安定的なというのが難しいところとなっております。学芸員さんも自分たちの専攻の中で色々なことを研究したい、より高いレベルに自身として挑戦したい、大学の教授を目指したいとなってきたときに、市といたしましては、なるべく長くお願いしたいところですが、そういった道も開けていくということもあります。正規職員として退職まで任期がありますので、続けていただけるように管理側もしっかりしていきたいところです。
教育長	その他、質問等ございませんか。
委員・質疑	「4－6 歴史・文化・芸術」の業績評価指標欄の佐原文化会館利用件数が、目標90件に対して実績77件ということですが、近隣の中では佐原文化会館は館内の改修も済んでいるかなり立派なホールで利用する用途等もあると思うのですが、なかなか目標に達せない要因とは何になるのでしょうか。
生涯学習課長	コロナ禍以降、利用件数が減り回復がなかなか難しいのかと思います。皆さんで集まって何かをするという活動が、まだ元に戻っていないのかと感じております。先日の県民芸術劇場の際に、県の担当の方々と話をしたのですが、市が日頃から文化活動というものをどういった形で市民の皆さんに提供できるかということで、例えばロビーコンサートのようなものを開催できるのはここだけか、他でも何かできないのかといったことを模索しながら活動しやすい環境づくりを目指す必要があるのかと考えております。
委員・質疑	市民に使ってもらって件数を増やすということでしょうか。それとも、外部の香取市ではないところからも主催してもらって、ということも含めてでしょうか。
生涯学習課長	自主事業だけでなく外部の方々へのセールスというか、利用していただくということで、各市の施設等と情報共有はしております。成田市ですと色々な歌手のコンサートがありますので、セールスも頑張っていかなければと思っています。
委員・意見	香取郡市ですと多古町にも立派なホールはありますが、銚子市はなくなってしまいましたし、かなり活用できるのではないかと思います。見てもあまり活用されていないような気がします。入ってホワイエもあり、立派なスクリーンになってますし、駐車場もあるので、売り込み方を上手くすれば色々な相手が来てくれるかと思います。それに対して市民が興味を持てば、芸術に親しむ機会が増えると思うので、もう少し力をいれていただけると嬉しいです。

委員・意見	「4-2 学校教育」でふれあいステーションについて触れてましたが、詳しくお教えいただきたいです。
学校教育課 学校教育班長	ふれあいステーションですが今年度までは佐原にはなく、小見川の市民センターいぶき館の方で開設しておりました。 以前は佐原地区の方にもあったのですが、解体により現在はない状況でして、佐原地区の中学生が小見川まで通いづらいこともあり、内部で検討してまいりました。 ふれあいステーション佐原ということで、旧大倉小学校の校舎の後ろにある新しい一室を利用して、令和7年4月に開設をする予定になっております。
委員・質疑	学校に行けないような子たちがそこで授業を受けるということによろしいですか。
学校教育課 学校教育班長	小見川と同様に支援員を配置しまして、学習やその他、パソコン関係も持って行けるような施設整備を考えておりますので、通常通り学校に戻れるように進めていきたいと思っております。
教育長	その他、質問等ございませんか。
委員	ありません。
教育長	議案第1号「香取市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」、採決します。 賛成の方は挙手を願います。
委員・審議	全員賛成
教育長	全員賛成と認め、議案第1号は原案のとおり可決しました。

1 2 報告事項

報告第1号	令和6年度香取市二十歳の集いの実施報告について
教育長	報告第1号「令和6年度香取市二十歳の集いの実施報告について」、事務局から説明をお願いいたします。

生涯学習課長	報告第 1 号 令和 6 年度香取市二十歳の集いの実施報告についてご説明させていただきます。 去る 1 月 1 2 日、日曜日に開催いたしました、二十歳の集いの実施について、議案書の 5 ページ及び本日お配りしました資料をご覧ください。 当日は教育委員の皆様にも、新年のご多用のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。 今年の二十歳の集いにつきましても、昨年同様、佐原文化会館を会場として 2 部制で無事開催することができました。 当日の二十歳の対象者数は 6 4 8 人で出席者数は 5 0 5 人で、7 7 . 9 % の出席率となり、昨年より 1 . 6 % の減となりましたが、ほぼ同様の状態でした。 また、家族等の観覧者は全体で 2 9 0 人、ウェブ配信同時視聴人数は合計で 1 6 7 人でした。 現在も、録画の配信を行っておりまして、1 か月間の配信を予定しております。
教育長	ただいまの説明について、質問等ございませんか。
委員・質疑	式典の様子は W E B で見れますが、各クラスごとの集合写真は見られないのでしょうか。
生涯学習課長	例年、記念品として、撮った写真を各家庭に発送させていただきます。 本年度はデータを限定で公開できる方法を模索しているところです。 参加された方には、データを取得する手段を市の中で公開して、パスワード等で管理する方法を考えております。
教育長	その他、質問等ございませんか。
委員	ありません。
教育長	以上で報告第 1 号は終わります。
1 3 その他	
教育長	委員の皆様から何かありますか。
委員	ありません。
教育長	事務局から何かありますか。
教育総務課長	来月の予定について
1 4 閉会宣言	堀越 教育長